

競技種目	講評
パソコン操作	今年度は、実際に使用されている、俸給表や保険料額表を利用した表を作成し、予算を立てる際の基礎資料を作成する問題と、ピボットテーブルを利用した複数年統計比較を行う問題を出題した。 前半の課題では、順序だてて回答をこなしていかなければ、後の問題が解けないようになっていた為、関数の書式を忘れてしまっていた方にはかなりハードルの高い問題となった。実務で関数を利用する場合には、いかにその関数の書式を思い出すことができるかが鍵であり、ある部分を解決できなければ、先に進めないことはよくある事だと思われる。昨年の講評でも記載したが、知識のブラッシュアップの重要性を感じる結果となったのではないだろうか。参加選手はこれを機会に改めて、関数の利用について復習していただければありがたいと思う。 ピボットテーブルを利用したデータ分析では、複数年のデータを1つにまとめ、統計用の元データを作成できるかが鍵であった。前半問題もそうなのだが、スクリーンリーダーユーザーにとっては、表の全体像をいかに把握するかが一番の課題となる。表をまとめ、必要なデータを抽出し、統計を取るという作業を、短時間でスムーズに行うためには、色々な形の表をいかに効率的に聞き取れるかが課題となる。 ピボットテーブルを利用する際は、項目の配置だけでなく、グループ化等の処理を適切に行わなければならない。結果が得られない。普段あまり使用することがないピボットテーブルだが、確実に操作が出来れば、就労の際、一つの強みとすることができる。こちらに関しても、知識のブラッシュアップを心掛けてもらいたいと感じた。 今後も、パソコン操作競技は、できるだけ実務で使える知識を中心とし、知識のブラッシュアップのきっかけになるような課題を作成していきたいと考えている。
D T P	昨年度と同様にテーマは、より全国大会の課題に近くするために、制作趣旨を考え作成させて頂きました。課題材料を最小限に絞り、課題作成に取り組んで頂きました。 参加者の経歴は様々ですが、今持てる力を緊張の中でも出し切れたと感じました。 今回特に印象的だったのは、競技者の色使いでした。アビリスの基本色はオレンジなので、その暖色に合わせた効果的な色使いにより印象的な作品に仕上がっているケースや、逆にキャラクターが暖色なので、それを強調するような寒色を配置する工夫をされているケースもあり、とても良い作品を完成出来た印象でした。 今回は、アビリスのPRポスターとなったので、全体的なレイアウトは同じでしたが、個々の個性が出せた作品群に仕上がりに、大変良かったと思います。 皆さま本当にお疲れ様でした。
ホームページ	今回は課題のボリュームがあり、競技時間内に課題を把握し、コーディングを完成させることが難しいと感じられました。しかしその中でも皆さんが自分の持っている技術を使って何とか形にするという意思を感じられました。 今後、仕事としてHP制作を受注していくことを考慮すると、全体のレイアウトや文章、画像、リンクの貼り付けを行ってから細かい見た目を整えていくということを意識すると良いと思います。
製品パッキング	今年度は定員を大幅に超過する申込があり、15名定員を16名に増やし競技を行いました。製品パッキング競技は皆様が興味を持つ競技になりつつあると実感しております。 今大会も例年同様、出来栄えと作業スピードを主な軸とした審査をしています。今大会は例年と違い上位入賞者に作業スピードがそれほど速くない選手がおられました。出来栄え良く製品を仕上げており出来栄えの減点が少ないことが要因です。 ただ今大会も数名の選手が正しい組み方がなされず、間違えた組み方で大きな減点となる選手もおられました。スピードも重要ですが出来栄えによる減点をいかに無くすかも大切な要素になります。 競技手順書を参考に正しい組み方を理解していただき、出来栄えの良い製品を作り、スピードが付けば次回は今大会以上に良い結果を出せると思います。 初参加の選手も含め参加していただいた選手は今大会の経験を元にすれば、次回の参加はより力を発揮できる競技になります。多くの選手が参加していただける大会になればと願っております。
販売・物流アシスト	大阪支部独自のこの競技も4年目です。就労している方や、支援学校等の生徒さん11名が参加され、2つの課題に取り組みました。 課題1は15分。輪ゴムの計量と小物用袋への封入、フタの貼付け作業で、最大15袋分を作ります。課題2も15分。大会リーフレットと課題1で作った製品を、大きな透明袋に詰めて、販売促進用の配布物を作ります。競技中には来客者（模擬）もあり、挨拶もします。また、この競技では、電子はかりの初期設定という少しややこしい作業があります。競技前に全員で練習をしますが、競技中に自分で設定できた方には加点をしました。 例年どおり、上位3名の方は、課題1、2ともバランスよく得点していました。なお、競技前には、机の上の作業レイアウトを変更する時間を設けており、袋の位置などを自由に変わってもらっています。上位の方は、こうした工夫の結果、スピードアップが図られているなど感じました。一方で、例年あることなのですが、リーフレットを袋に入れる際、向きが逆になってしまっているなど、残念な成果物もありました。 ところで、審査委員長が行う競技説明は、事前に何度も推敲を重ね、分かり易いものにするようにしています。また、実際に見本を手にとって、目で見て分かる説明も心がけています。競技内容を参加者が十分理解された上で競い合ってもらいたい、そんな思いからです。ある企業を訪問した時に、この競技で努力賞を贈られたことを、励みにされている話をお聴きしました。順位にかかわらず、この競技が、そうした意欲につながっているのは、大変うれしいことです。選手の皆さん、お疲れさまでした。

競技種目	講評
喫茶サービス	選手の皆さん、大変お疲れさまでした。 この喫茶サービス競技は、当日にグループを組んだ選手同士が協力し合いながら、お客様の立場に立った喫茶サービスを提供する競技となっています。 さて、今大会の競技では、選手の皆さん、緊張もあったためか、全体的に声が小さい印象を受けました。また、注文の受け方や注文品の出し方、お客様がお帰りになった後の片づけなどの一連のサービス提供については、選手の皆さん、しっかりと意識して取り組まれていたようですが、これらの一連の作業の流れを確実に行うことに意識が向きすぎてしまったように感じられる選手が、多くいたように思います。 喫茶サービスの提供においては、お客様に対するおもてなしの気持ちがお客様にしっかりと伝わるような接客が大切です。おもてなしの気持ちは、声の大きさや笑顔での接客、明るい声でのきはきとしたあいさつや受け答えなどで、その印象が大きく変わります。また、お店全体の動きを見ながら、お客様をお待たせしていないかなども注意し、グループで声を掛け合い協力しながら、お客様の立場に立って気持ちのよいサービスを提供していくことが大切です。 今回の競技では、そのような点で特に優れている選手が、上位入賞に繋がりました。 選手の皆さん、今大会での経験を生かして、今後、より良いサービスの提供に向けて技能を高めていただければと思います。
表計算	表計算競技に参加された選手の皆様お疲れ様でした。 また、表彰された選手の皆様、受賞おめでとうございます。 表計算競技は今年度の課題についても「装飾・編集」、「データ処理」、「グラフ作成」、「関数式による表の完成」の4問題を出题いたしました。 90分という限られた競技時間の中ですが、どの課題も皆様最後までしっかり取り組まれていたように感じました。 特に成績上位の方については、どの課題もバランス良く高得点を取っておられました。 表計算ソフトは、他の業務ソフト同様に様々な職場で使われています。 どの職場でもITスキルが求められるなかで、表計算ソフトは操作方法、特に関数は知っていると業務の効率化に繋がる事も多いです。 今年度の経験を活かして、来年も是非チャレンジしてください。 皆様本当にお疲れ様でした
パソコンデータ入力	パソコンデータ入力競技では、課題1 アンケート入力、課題2 帳票作成、課題3 文書修正の3つがあります。 上位入賞された方は、3つの課題に偏りなく、満遍なく点数をとられている傾向があります。 課題1については、正確さとスピードを考えますと、アンケート入力されている内容に間違いは少なかったと思います。入力のスピードを上げてアンケートの解答数をもっと増やせるよう練習を積んでいただきたいと思います。 課題2については、書式設定はできていますが、関数でつまずいている方も多く見られますので、EXCELの基本的な機能を習得していただきたいと思います。また、せっかく課題を入力されているのに、行がずれていた解答も何件か見受けられたので、指定する行、列に入力するよう注意してください。課題3については、例年より少し課題が難しかったと思いますが、その中で皆さん、例年と変わらない成績を上げておられました。今後も、パソコンデータ入力競技の裾野が広がっていくことにより、競技参加を通じて習得いただいた技能を、幅広い仕事に活かしてもらえたらと考えています。
ワード・プロセッサ	英文30分と和文60分のワード・プロセッサ競技に、当日の欠席もなく、16名の方が参加されました。 制限時間も大きいですが、普段使い慣れている和文課題のほうがよくできていました。 この競技は、和文だけでなく英文の入力練習とワードの使える機能をどのくらい理解しているかが大切です。 対策としては、10分など時間を計測して、日本語だけでなく、半角での入力に慣れるために英文練習を行うこと、ワードを使って色々な機能を利用した文書作成に取り組むことが良いのではないかと思います。
ビルクリーニング	アビリンピックおおさか2024ビルクリーニング競技参加選手の皆様大変お疲れ様でした。 審査員全体の印象は、作業手順を正確に理解し、元気いっぱい競技に取り組んで頂き、日頃の訓練及び各職場での動き方が思い浮かぶような姿勢が好評でありました。全体的に気になる点は、作業工程1つ1つの正確性が各競技者の得点の差に直結したことであり、その正確性が次の工程に上手く連動出来ていないように見受けられることで作業の流れを悪くしていることが多々見受けられました。上位3名の選手は、その点が素晴らしいかと思います。全国大会出場選手には、この点をより練習され良い成績を獲得して頂けますよう練習に励んで頂きたいと思います。
オフィスアシスタント	参加された選手の皆さん、大変お疲れ様でした。 オフィスアシスタント競技は、課題1の「発送準備」と課題2の「郵便物の仕分け」で構成され、競技時間が長いことに加え、各課題とも正確でかつ素早い判断力や照合力、手先の器用さ、滑らかな動作など、総合的な作業遂行力が求められる競技です。 皆さんの競技に取り組む姿を拝見させていただきましたが、事前に相当トレーニングし準備されたこと、この競技にかける真剣さや一生懸命さがヒシヒシと伝わってきました。 今年度は、この競技が個人情報を扱うことを踏まえ、個人情報の漏えいに当たるミスに関して、これまで以上に厳正に審査させていただきました。個人情報情報を厳格に取り扱うことは皆さんの職場でも同様のことだと思いますのでこの経験を活かしさらに研鑽を積まれることを期待しています。